

インタビュー

お客様の品質保証にお役立ちすること

社会に安全と安心を提供する！

—— マークテック(株) ——

常務執行役員
グローバル営業部門管掌 営業部長



／技術提携等による「品質保証」に関連する技術力ある中小製造企業の受け皿技術継事業」を構築するという戦略的なビジネスモデルにも取り組んでいる。

さらに、海外での実績を基に、(60年以上のノウハウがある)化成品開発・製造の受託生産ビジネスを本格的に始動している他、X線CTの受託検査ビジネスの立ち上げなど、PT・MTのみならず非破壊検査のワンストップソリューションを展開する総合メーカーとしての取組みにも注力している。

マークテック(株)(東京都大田区大森西4-17-35、☎03-3765-1712)は、「非破壊検査事業」並びに「マーケティング事業」における製品とサービスの提案を通じて、ユーザーの品質保証活動に寄与している。

近年、第三の事業の柱構築のため、30年先をも見据え、新たにM&Aを中心とした、資本提携／業務提携

本紙では、同社・市川大介常務執行役員グローバル

客先動向として、自動車関係は秋頃から本格的な回復に向かう見通しであり、関連する鉄鋼分野の回復も期待される。

原発関係は再稼動に向けた動きが高まる中、引合いも増加しており、動向を注視していく。

一方、コロナ禍による落ち込みから急回復した分野としては、航空関係と鉄道関係が挙げられ、航空分野は年末にコロナ禍以前の水準まで回復する見通し。鉄道分野は新幹

—— 今期(2023年12月期)の「PT・MT事業」についてお聞かせ下さい。 ——

市川 1～6月の上期を振り返ると、売上金額は前年と比較して回復基調にある。物流が前年並みで推移していることから、原材料の高騰に伴う価格改定活動による影響が大きいものと考えている。

海外事業についても、出張の機会が増える中、総じて回復基調で推移している。欧州では新しい代理店を通じた大口案件の引合いを獲得し、アジアでもエアゾール缶で数万本単位の大口案件が進行している。

中国市場の回復の遅れが懸念されるものの、その他のエリアは順調に推移しており、改めて、広く国内外で景気回復のダイナミズムを感じている。

—— どのように取組みに注力されていますか？ ——

市川 既存のお客様に対する深耕営業を維持しつつ、中長期的な成長を見据えた新規事業にも注力している。

昨年より探傷剤や洗浄剤をはじめとする「化成品の受託生産ビジネス」を本格的に始動する中、おかげさまで大口OEM案件も複数件いただいている。

また、化学物質管理促進法(PRTTR制度)の改正を背景に、環境負荷の低減

に貢献する製品にも対応する。カーボンニュートラルに関しては、今年4月よりPT剤「エコチェック®シリーズ」の販売を通じた、カーボンクレジット施策にも着手している。

装置事業では、お客様の声を基に改良を重ねたコードレス式ハンディタイプの紫外線探傷灯「C-10LB」が、おかげさまで当初の年間販売目標を単月で達成している他、「全自動磁粉探傷装置」についても、複数件の有力な引合いをいただく中、お客様にご満足いただける最適な仕様を目指した開発を続けている。

—— 今後の見通し&方針をお聞かせ下さい。 ——

市川 23年下期からの更なる景気回復が期待される中、既存事業に加えて「化成品の受託生産ビジネス」や「CTスキャンの受託検査サービス」、新会社による「粉体物性測定事業」といった新たな施策も積極的に展開することで、23年及びその先の24年についても大きな成長を目指していきたい。

今後とも、当社の持続可能な成長を支える社員が高いモチベーションを維持できる環境の整備に努めつつ、30年先を見据えて、第三の事業構築のための「品質保証」に関連する技術力ある中小製造企業の受け皿技術継事業」を着実に推進し、企業理念「品質保証を通して社会に安全と安心を提供する」の実現に努めて参りたい。

—— ありがとうございます。 ——



染色浸透探傷剤「エコチェック®シリーズ」